



年 組 名前

道新ワークシート

神居古潭「もっと見やすく」

日本遺産で注目 住民ら訴え

おう穴群や奇岩、縄文期の遺跡

旭川市の観光地「神居古潭」で遺跡や文化財に行くための道や案内板が整備されず、一部が見られない状態となっている。昨年の日本遺産認定を受け、近く案内板が設置されるが、市の財政難などから整備のめどが立たない所もある。周辺はジオパークの認定準備も進み、近年注目のスポットだけに、関係者は「せつかくの観光資源を活用して」と訴えている。

(久保田昌子)

案内板や道が整備されていないのは、おう穴群（アイヌ語で「魔神の足跡」の名が付けられている）、奇岩（同「魔神の頭」）、巨石（同「魔神の胴体」）と、神居山（標高799㍎）にあるストーンサークル遺跡。おう穴群や奇岩、巨石は石狩川の激流

で浸食されるなどしてできた。ストーンサークルは円形の石の集まりが10基ほどあり、縄文後期に作られたとされる。このうち、おう穴群と奇岩、巨石は足場が悪く近づく危険なこともあり、案内板が未整備だった。昨年5月に文化庁の日本遺産「カムイと共に生きる上川アイヌ」の構成文化財に含まれたのを契機に、関係12市町で

神居古潭の文化財や遺跡



※写真は旭川市教委が1990~2007年ごろ撮影

道や案内板未整備「行政は工夫を」

つくる推進協議会が雪解け後も案内板を設置することになった。一方、ストーンサークルの整備は未定だ。1990年には市教委が調査し、当時は道の草刈りも行われていた。だが近年は放置され、詳しい人でなければ行けない状態。未整備の理由について、市教委は財政難のほか「遺跡は小さく気付きにくい。うっかり壊されることがないよう保護の意味もある」と説明する。

地元住民からは、こうした状況を憂う声がかかる。神居大橋近くの雑貨店「南山商店」によると、近年は日本遺産やジオパークで注目され訪れる人が増えたものの、場所が分からず諦めて帰る人が少なくないという。女性店主は「せつかくの観光資源が生かされていない」と残念がる。

案内板設置が決まった奇岩についても、隣接するサイクリングロードが落石により2010年から通行止めのため対岸から見ることができない。神居古潭の地形や地質の魅力を伝える市民団体「あさひかわジオパークの会」の中谷良弘事務局長は「行政は安全に観察できるガイド付きツアーを開くなど関心ある人が立ち寄れる工夫をすべきだ」と指摘している。



道新でワークシート

年 組 名前

①見出しに「もっと見やすく」とありますが、どのような問題があるのでしょうか。当てはまる部分を見付け、40字で書き抜きましょう。

②なぜ設問①のような問題をこれまで解決していなかったのでしょうか。

③あなたが行政の立場なら、ストーンサークルが見えにくい問題をどのように解決したらよいと思いますか。あなたの考えを書きましょう。